

佐倉シニアアンサンブルかなで



佐倉シニアアンサンブルかなでは、全国大会に初めて参加させていただきました。

大会当日の朝、会場に集合した団員の表情からは、緊張と意気込みの両方が伝わってきました。

指揮の横林先生は、大会のステージマネージャーを務められ、各団のステージ準備に大忙し。

先生とはリハーサルも本番も、出番前にステージ脇でようやくお会いするという状況でした。

それでもリハーサルで先生からご指摘のあった部分をそれぞれがしっかり心にとめて、本番は自分達なりに日頃の練習の成果が出せた演奏になったと思います。

先輩方の団の素晴らしい演奏も聞かせていただける良い機会となり、この大きな経験を大切に、またこれからも一歩ずつ進んでいきたいと思っています。

佐倉シニアアンサンブルかなで 長谷川夏子

市原SEこすもすと君津SEアゼリアの合同演奏



緞帳が上がる。先生がタクトを上げる。楽器を構える。出だしを外すな。演奏を楽しんで。

私たちは君津シニアと市原シニアの合同チームでした。合同練習は2回で、普段と異なる顔ぶれ、楽器編成、練習場所が新鮮でした。本番では大勢のお客様を前にして緊張しながらも、年齢を感じさせないエネルギー溢れる演奏ができました。

いよいよ3曲目のブラジルのフィナーレだ。先生の指揮を見て、最後の音の縦を合わせて。

全体演奏ではプログラム裏面の歌詞を見て瀬戸の花嫁を歌うお客様が多数見え、じんと来ました。

当日は大相撲夏場所の楽日でした。この全国大会は大の里関の初優勝とともに私たちの記憶に残ることでしょう。

市原シニアアンサンブルこすもす 金井知也